

# 漁況情報 No.4

平成 18 年 6 月 12 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : [CE0012@pref.iwate.jp](mailto:CE0012@pref.iwate.jp)

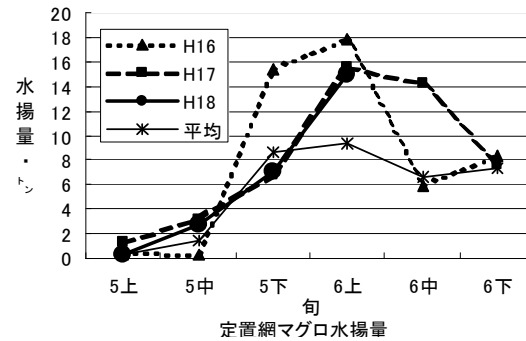
\* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しております。

## << トピックス >>

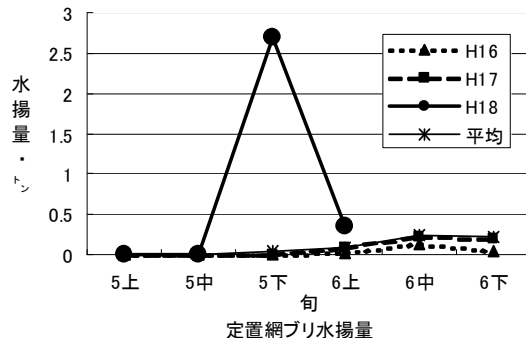
クロマグロ(定置網)の水揚げがまとまってきました。  
ブリ(定置網)の水揚げは下がったものの、引き続き好調です。  
マダラ(底曳網)は低調に推移しています。

### 1. 水揚げ状況

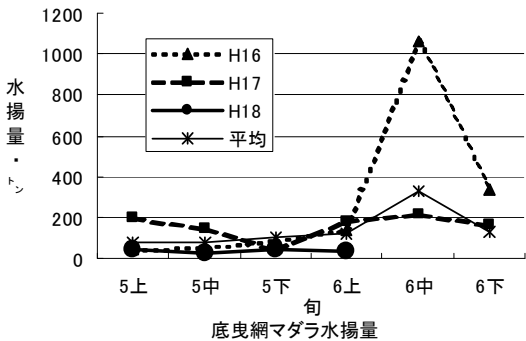
(1) クロマグロ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがありました。6月上旬の水揚げ量は15.0トン、前年同期の97%、年累計は26トン、前年同期の96%でした。また、5月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は9.4トンで、平均と比較すると1.6倍でした。



(2) ブリ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがありました。6月上旬の水揚げ量は357kgで、前年同期の4.4倍、年累計は3.1トン、前年同期の34倍でした。また、6月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は84kgで、平均と比較すると4.3倍でした。



(3) マダラ(底曳網)は水揚げがまとまらず、6月上旬の水揚げ量は34.1トン、前年同期の19%、年累計は551トン、前年同期の26%でした。また、6月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は123トンで、平均と比較すると28%でした。



\* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

### 2. 調査結果、その他の情報

(1) 岩手県沖合底魚類の資源量推定調査結果について

タラ類等の資源量推定を目的として、岩手丸による着底トロール調査を行ったので、結果をお知らせします。調査は、4月18日から5月19日にかけて、岩手県沖合(北緯39度~40度10分)の水深179~408mに定めた25地点で各地点30分間曳網しました。本調査で採集された主な魚種ごとの採集量と推定資源量を表1に示します。

スケトウダラは、県北部の水深200m付近に多く分布し、資源量は前年をやや下回る66,745千尾・15,455トンと推定されました。資源水準は、体長19cm付近の1歳魚では前年を大きく下回っていましたが、体長32cmと体長38cm付近の3~4歳魚ではほぼ前年並みでした(図2)。

マダラは、県北部の水深300~400m、県南部の水深250~300mに多く分布し、資源量は尾数で前年の2.2倍、重量で前年の2.7倍(9,637千尾・9,858トン)と推定されました。資源水準は、体長40~41cm付近の3歳魚では前年を大きく上回っていましたが、体長19cmと34cm付近の1~2歳魚では前年並以下の水準でした(図2)。

そのほか、キチジ、アカガレイ、ババガレイは増加傾向を示していたほか、ケガニは前年を下回っていました。

表1 岩手丸の着底トロール調査によって採集された主な底魚類の採集量と推定資源量

魚種名	採集量		資源量		増減	
	(尾)	(kg)	(千尾)	(トン)	尾数	重量
スケトウダラ	524	130.2	66,745	15,455	0.8	0.8
マダラ	89	90.5	9,637	9,858	2.2	2.7
キチジ	345	19.1	71,842	4,038	1.5	2.5
アカガレイ	52	8.5	3,975	978	1.2	1.2
ババガレイ	25	15.3	3,305	2,205	1.3	1.6
ケガニ	168	11.7	21,892	349	0.9	0.2

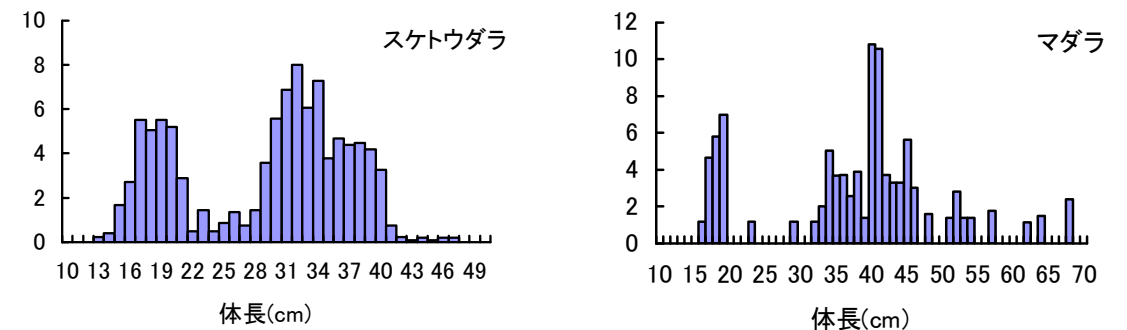


図2 平成18年のトロール調査で採集されたスケトウダラとマダラの体長組成

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。